

医科学（Ⅱ）

コーディネーター：口腔医学講座（関連医学分野） 千葉俊美教授
 担当講座（分野）：口腔医学講座（関連医学分野）、口腔顎顔面再建学講座（歯科放射線学分野）、医学部各講座

第5学年 前期・後期		講義/演習	実習
	前期	45.0時間	00.0時間
	後期	18.0時間	00.0時間

学修方針（講義概要等）

5年次で歯科医師が必要とする医学的知識の習得を目的とし、医科学Ⅰから継続しさらなる専門分野の知識を得ることにより、歯科診療上重要な疾患の病因・病態と診断・治療について学修する。

教育成果（アウトカム）

高齢化社会となり、生活習慣病などの増加により動脈硬化性疾患や糖尿病などが増加して疾病構造に変化がみられる。また医科診療では高度先進医療や新しい治療法（薬物療法や非薬物療法）が導入されている。主要内科疾患の病態生理、最新の治療法やガイドラインの基本的知識、内科救急対応の基本的知識を習得することで、このような高齢化社会に対応できる歯科医師が養成される。また、心臓血管外科、頸動脈内膜剥離術、肝臓移植など外科系手術の概要と腎臓透析、骨粗しょう症など、口腔医学の観点から歯科診療上重要な疾患の病因・病態と診断・治療を学び、災害時の医療や個人認識、EBMとガイドラインやクリティカルパスなど最新の情報についても理解することで、口腔と全身の関わりを理解するとともに全人的医療の一環としての歯科医療人が育成される。（ディプロマ・ポリシー：3、4、6、8、9）

（ディプロマポリシー：○、△）

事前事後学修の具体的内容及び時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

講義日程

（講義時間：90分（4限：13時～14時30分、5限：14時40分～16時10分））

【講義室：歯学部4階第2講義室】

月 日	担当者	ユニット名	医歯学 連携演習	学習目標 (GI0)	到達目標(SBOs) [コア・カリキュラム]	口腔医学キーワード
4月19日 (火) 4限 (13:00 ～ 14:30)	千葉俊美 教授	1. 先天性心疾患と感染性心内膜炎と予防、高血圧症	ユニット5 歯科診療に影響する疾患 ユニット6 高齢者	口腔（歯科）診療を行う上で必要な先天性心疾患、感染性心内膜炎、高血圧症の主要症候、病態生理と予防について理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 先天性心疾患の主要な病態、症候、診断 2. 感染性心内膜炎の主要な病態、症候、診断 3. 高血圧症の病態、症候、診断 4. 高血圧症例での歯科治療の留意点 [E-6-②]	先天性心疾患、Fallot四徴症、チアノーゼ、感染性心内膜炎、レンサ球菌感染症、敗血症、弁膜症、抗菌薬 本態性高血圧症、二次性高血圧症、降圧薬

月 日	担当者	ユニット名	医歯学 連携演習	学習目標 (GI0)	到達目標(SBOs) [コア・カリキュラム]	口腔医学キーワード
4月19日 (火) 5限 (14:40 ～ 16:10)	千葉俊美 教授	2. 虚血性心疾 患、心臓弁 膜症、心不 全	ユニット5 歯科診療 に影響す る疾患 ユニット6 高齢者	口腔(歯科)診 療を行う上で必 要な虚血性心疾 患、心臓弁膜 症、心不全の主 要症候と病態生 理について理解 する。	以下の項目について説 明できる。 1. 虚血性心疾患の病 態、症候、診断 2. 虚血性心疾患での 歯科治療の留意点 3. 弁膜症の主要な病 態、症候、診断 4. 心不全の主要な病 態、症候、診断 5. 抗凝固療法例での 歯科治療 [E-6-②]	狭心症、心筋梗塞症、 急性冠症候群、心筋 虚血、ST上昇、ST下 降、血管内治療、ステ ント、抗血小板薬、 弁膜症、僧房弁閉鎖 不全症、大動脈弁狭 窄症、人工弁、左心不 全、右心不全、起座呼 吸、浮腫、肝腫大、抗 凝固療法、ワルファ リン
4月26日 (火) 4限 (13:00 ～ 14:30)	千葉俊美 教授	3. 消化器良性 疾患	ユニット5 歯科診療 に影響す る疾患	口腔(歯科)診 療を行う上で必 要な消化器疾患 について理解す る。	以下の項目について説 明できる。 1. 胃酸・消化の機能 2. 消化性潰瘍の発生機 序と鎮痛・消炎薬 3. ピロリ菌感染症 4. 消化管憩室 [E-6-②]	胃酸分泌機構、消化 性潰瘍、消化性潰瘍 の発生機序、ピロリ 菌感染症、アラキド ンサンカスケード、 憩室症
4月26日 (火) 5限 (14:40 ～ 16:10)	千葉俊美 教授	4. 上部消化器 悪性疾患		口腔(歯科)診 療を行う上で必 要な上部消化器 悪性疾患につい て理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 食道の解剖、機能 2. 食道癌の危険因子、 疫学、検査、治療 3. 胃の解剖、機能 4. 胃癌の危険因子、疫 学、検査、治療 [E-6-②]	食道癌、胃癌
5月10日 (火) 4限 (13:00 ～ 14:30)	心臓血管 外科学講座 小泉淳一 講師	5. 冠動脈バイ パス術、感 染性心内膜 炎と弁膜症 の外科		冠動脈バイパス 術、感染性心内 膜炎と弁膜症の 主要症候と病態 生理、手術方法 について理解す る。	以下の項目について説 明できる。 1. 冠動脈バイパス術 2. 感染性心内膜炎 3. 弁膜症 [E-6-②]	冠動脈バイパス術、 オフポンプバイパ ス手術(OPCAB)、感 染性心内膜炎 人工弁 ワーファリン
5月10日 (火) 5限 (14:40 ～ 16:10)	中居賢司 客員教授	6. 循環器疾患 診療の進歩 と歯科医療 での課題	ユニット5 歯科診療 に影響す る循環器 疾患診療 の進歩	口腔(歯科)診 療を行う上で必 要な循環器疾患 診療の進歩～主 要症候と病態を 理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 口腔(歯科)診療に必 要な循環器疾患診療 の進歩 2. 歯科治療中の主な不 整脈発作の心電図上 の特徴 3. 心房細動での抗凝固 療法について 4. ペースメーカー、植込 み型除細動器の意義 5. 大動脈弁狭窄症での 歯科治療 [E-6-②]	期外収縮、心房細 動、心室頻拍、心室 細動、房室ブロッ ク、心臓ペースメー カー、埋込み型除細 動器(ICD)、抗凝 固療法大動脈弁狭窄 症

月 日	担当者	ユニット名	医歯学 連携演習	学習目標 (GIO)	到達目標(SBOs) [コア・カリキュラム]	口腔医学キーワード
5月17日 (火) 4限 (13:00 ～ 14:30)	脳神経内 科・老年科 分野 前田哲也 教授	7. 神経変性疾 患、その他 の神経疾患	ユニット6 高齢者	口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な脳神経系の病 態を理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. Parkinson 病と類縁 疾患、認知症疾患 2. その他の代表的神経 疾患 [E-6-②]	Alzheimer 病と認知 症疾患、Parkinson 病と類縁疾患、神経 感染症、脱髄性疾患、 末梢神経疾患、筋疾 患
5月17日 (火) 5限 (14:40 ～ 16:10)	脳神経内 科・老年科 分野 板橋 亮 教授	8. 脳血管障害	ユニット6 高齢者	口腔（歯科）診療 を行う上で必要 な脳血管の病態 を理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 脳卒中と脳機能局在 2. 脳血管の解剖 [E-6-②]	脳血管障害（脳梗 塞、脳出血）、巣症 状
5月24日 (火) 4限 (13:00 ～ 14:30)	救急医学 分野 井上義博 教授	10. 救急医療	ユニット2 救急医療	口腔（歯科）診 療を行う上で必 要な救急医療の 主要症候と病態 等を理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 岩手医科大学の救急 医療システム 2. 救急医療の現状と対 応 3. 頭頸部外傷の現状と 対応 4. ドクターヘリの現状 5. トリアージ [E-6-②]	救急医療、救急医療 システム、頭頸部外 傷、交通外傷、ドク ターヘリ、トリアー ジ
5月24日 (火) 5限 (14:40 ～ 16:10)	総合診療医 学分野 高橋智弘 講師	9. 内科救急	ユニット2 救急医療	口腔（歯科）診 療を行う上で必 要な内科救急の 主要症候と病態 の理解と対処法 を理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 一次救命処置（BLS）： 心肺蘇生+AED 2. 意識障害患者と窒息 患者への初期対応 3. 二次救命処置（ALS） 4. 心停止の鑑別診断 [E-6-②]	気道確保、胸骨圧 迫、人工呼吸、心室 細動、AED
5月31日 (火) 4限 (13:00 ～ 14:30)	外科学講座 片桐弘勝 講師	11. 臓器移植		口腔（歯科）診 療を行う上で必 要な臓器移植に ついて理解す る。	以下の項目について説 明できる。 1. 臓器移植の歴史 2. 臓器移植法 3. 拒絶反応 4. 移植片対宿主病 5. 肝臓移植 6. 肝臓移植例での歯科 治療 [E-6-②]	移植、免疫抑制剤、肝 硬変、黄疸、意識障害
5月31日 (火) 5限 (14:40 ～ 16:10)	中里龍彦 非常勤講師	12. 頭頸部の画 像診断と治 療への応用		口腔（歯科）診 療を行う上で頭 頸部腫瘍の画像 診断により病態 を理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 口腔と周辺臓器の画 像解剖 2. 頭頸部腫瘍の画像所見 3. 悪性腫瘍の病期分類 4. 頭頸部領域の Interventional Radiology (IVR) [E-6-②]	画像解剖、腫瘍の画 像診断、病期分類、 IVR

月 日	担当者	ユニット名	医歯学 連携演習	学習目標 (GIO)	到達目標(SBOs) [コア・カリキュラム]	口腔医学キーワード
6月7日 (火) 4限 (13:00 ～ 14:30)	鈴木 順 客員准教授	24. 心身医学総 論	ユニット8 心身医療 と歯科心 身症	口腔(歯科)診 療を行う上で必 要な心身医学的 疾患の主要症候 と病態を理解す る。	以下の項目について説 明ができる。 1. 心身症の定義 2. bio-psycho-social medical model 3. 主要な歯科心身症の 疾患名、症候、対応 [E-6-②]	心身症・心身医学 口臭症、舌痛症、顎 関節症、口腔異常感 症、味覚異常、歯科恐 怖症
6月7日 (火) 5限 (14:40 ～ 16:10)	呼吸器内科 分野 内海 裕 助教	14. アレルギー 疾患へのア プローチ	ユニット5 歯科診療 に影響す る疾患	口腔(歯科)診 療を行う上で必 要なアレルギー疾 患の主要症候と 病態、緊急の対応 法を理解する。	以下の項目について説 明ができる。 1. アレルギーの分類、機 序と代表的疾患 2. 気管支喘息の病態 3. アナフィラキシーシ ョックの病態 [E-6-②]	気管支喘息、アナフ ィラキシーショッ ク、薬物アレルギー
6月14日 (火) 4限 (13:00 ～ 14:30)	山崎知子 非常勤講師	15. がんの総論 がん治療と 口腔管理		口腔(歯科)診 療を行う上で必 要ながんの総 論、がん治療と 口腔管理につい て理解する 頭頸部癌疾患に ついて理解す る。	以下の項目について説 明ができる。 1. がん総論 2. がん治療と口腔管理 3. 頭頸部癌疾患 [E-6-②]	がん総論 頭頸部疾患
6月14日 (火) 5限 (14:40 ～ 16:10)	消化器内科 肝臓分野 柿坂啓介 講師	16. 肝疾患		口腔(歯科)診 療を行う上で必 要な肝、胆、膵 疾患について理 解する。	以下の項目について説 明ができる。 1. 肝臓、胆嚢、膵臓の構 造、機能、病態 2. 肝機能・肝障害の評価 方法 3. 慢性肝疾患の主要な 症候、病態 4. 肝硬変の病態 [E-6-②]	肝機能、肝障害 ウイルス肝炎(B型お よびC型肝炎ウイル ス)、非アルコール性 脂肪肝、肝硬変、肝癌
6月21日 (火) 4限 (13:00 ～ 14:30)	外科学講座 佐々木 章 教授	17. 消化器疾患 と外科治療		口腔(歯科)診 療を行う上で必 要な消化器疾患と 外科治療につい て理解する。	以下の項目について説 明ができる。 1. 消化器疾患の主要な 病態と症候 2. クリニカルパス 3. 内視鏡外科手術 4. 全身管理に注意すべ き消化器疾患 5. 高齢者歯科診療で注 意すべき消化器疾患 [E-6-②]	消化器疾患、貧血、黄 疸、術前管理、術中管 理、術後管理
6月21日 (火) 5限 (14:40 ～ 16:10)	田中良一 教授	18. PET 診療の 基礎知識		がん診療におけ るPETの役割と 限界を理解する。	PETの以下の項目につ いて説明ができる。 1. 画像化の原理 2. 偽陽性と偽陰性 3. 検査の前処置 4. 医療従事者の放射線 防護 5. 検査の適用 [E-6-②]	ポジトロンエミッシ ョントモグラフィ (PET)、悪性腫瘍、 炎症、放射線防護、 適用

月 日	担当者	ユニット名	医歯学 連携演習	学習目標 (GIO)	到達目標(SBOs) [コア・カリキュラム]	口腔医学キーワード
6月28日 (火) 4限 (13:00 ～ 14:30)	千葉俊美 教授	19. 胆・膵疾患		口腔(歯科)診療を行う上で必要な胆・膵疾患の主要症候と病態を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 胆道疾患の主要な症候、病態 2. 膵疾患の主要な症候、病態 [E-6-②]	胆嚢結石症、総胆管結石、急性胆嚢炎、急性胆管炎、胆嚢癌、胆管癌、急性膵炎、慢性膵炎、膵癌
6月28日 (火) 5限 (14:40 ～ 16:10)	外科学講座 八重樫瑞典 特任講師	20. 下部消化管 疾患と外科 治療		口腔(歯科)診療を行う上で必要な下部消化管疾患と外科治療について理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 大腸の解剖、機能 2. 大腸癌の危険因子、疫学、検査、治療 3. 大腸ポリープ・ポリポーシス [E-6-②]	大腸癌、Peutz-Jeghers 症候群、Gardner 症候群
7月5日 (火) 4限 (13:00 ～ 14:30)	整形外科学 講座 村上秀樹 教授	21. 整形外科学 総論 - 骨 粗しょう症		口腔(歯科)診療を行う上で必要な整形外科学の意義を理解する。	以下の項目について説明ができる。 1. 整形外科学的疾患の主要徴候と病態の概要 2. 骨粗しょう症と治療(ビスフォスフォネート) 3. 頸椎症性脊髄・神経根症と治療 [E-6-②]	整形外科学的疾患、骨粗しょう症、ビスフォスフォネート、顎骨壊死、頸椎症、脊髄症、神経根症、ロコモティブシンドロームと腰痛疾患
7月5日 (火) 5限 (14:40 ～ 16:10)	整形外科学 講座 大竹伸平 助教	22. 関節リウマ チと外科治 療		口腔(歯科)診療を行う上で必要な関節リウマチの病態と外科治療を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 関節炎の概要 2. 関節リウマチの概要と治療 [E-6-②]	関節炎、関節リウマチ、脊髄障害、開口障害、嚥下障害
7月12日 (火) 4限 (13:00 ～ 14:30)	血液腫瘍 内科分野 佐々木了政 助教	23. 血液疾患と 骨髄移植	ユニット5 歯科診療 に影響す る疾患	口腔(歯科)診療を行う上で必要な血液疾患の病態と骨髄移植を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 血液細胞の基本的な機能 2. 白血病の主要な症候、病態と歯科治療上の留意点 3. 骨髄移植 [E-6-②]	白血病、白血球、急性骨髄性白血病、急性リンパ性白血病、ATL、悪性リンパ腫骨髄移植
7月12日 (火) 5限 (14:40 ～ 16:10)	田中良一 教授	13. 救急の画像 診断		口腔(歯科)診療を行う上で必要な救急あるいは併存症の画像診断について理解する	以下の項目について説明できる。 1. アレルギーにより生じる画像所見 2. 誤嚥・誤飲による画像所見 3. 併存症の急変時画像所見 [E-6-②]	肺水腫、ARDS、誤嚥性肺炎、異物誤飲、気胸、縦隔気腫、急性大血管疾患

月 日	担当者	ユニット名	医歯学 連携演習	学習目標 (GI0)	到達目標(SBOs) [コア・カリキュラム]	口腔医学キーワード
7月19日 (火) 1限 (8:50～ 10:20)	千葉俊美 教授	25. 膠原病疾患 と後天性免疫不全症候群	ユニット5 歯科診療 に影響する疾患	口腔（歯科）診療を行う上で必要な代表的な膠原病やHIV感染、AIDSの主要症候と病態を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 関節リウマチ、SLE、シェーグレン症候群などの代表的膠原病の症状と合併症 2. HIV感染、AIDSの主要症候 3. ドライマウスの症状および機序 [E-6-②]	膠原病、リウマチ性疾患、SLE、シェーグレン症候群、HIV感染、AIDS、ドライマウス
7月19日 (火) 2限 (10:30 ～ 12:00)	千葉俊美 教授	26. 赤血球の疾患		口腔（歯科）診療を行う上で必要な赤血球の機能と血液疾患の病態を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 貧血の症候、病態 2. 鉄欠乏性貧血 3. 再生不良性貧血 4. 悪性貧血 5. Plummer-Vinson 症候群 [E-6-②]	鉄欠乏性貧血、再生不良性貧血、巨赤芽球性貧血、悪性貧血 Plummer-Vinson 症候群
7月19日 (火) 3限 (13:00 ～ 14:30)	頭頸部外科学 志賀清人 教授	27. 咽喉頭解剖生理と疾患		口腔（歯科）診療を行う上で必要な咽喉頭解剖生理と疾患を理解する	以下の項目について説明ができる。 1. 咽喉頭の解剖と生理 2. 嚥下のメカニズム 3. 反回神経麻痺の原因と症状 4. 咽喉頭の疾患の症状と治療 [E-6-②]	咽喉頭、嚥下のメカニズム、反回神経麻痺、咽喉頭の疾患
7月19日 (火) 4限 (14:40 ～ 16:10)	耳鼻咽喉科学講座 桑島 秀 助教	28. 鼻・副鼻腔解剖生理と疾患		口腔（歯科）診療を行う上で必要な鼻・副鼻腔の解剖生理と疾患を理解する	以下の項目について説明ができる。 1. 鼻・副鼻腔の解剖と生理 2. 鼻・副鼻腔の疾患の症状と治療 3. 食道異物、気管支異物に対する検査・治療 [E-6-②]	鼻・副鼻腔の疾患 食道異物、気管支異物
8月2日 (火) 4限 (13:00 ～ 14:30)	耳鼻咽喉科学講座 平海晴一 准教授	29. 聴覚・平衡解剖生理		口腔（歯科）診療を行う上で必要な聴覚・平衡解剖生理の意義を理解する	以下の項目について説明ができる。 1. 側頭骨解剖 2. 伝音機構 3. 内耳の聴覚・平衡生理 4. 聴覚検査 [E-6-②]	側頭骨解剖、伝音機構、内耳、平衡生理、 聴覚検査、難聴

月 日	担当者	ユニット名	医歯学 連携演習	学習目標 (GIO)	到達目標(SBOs) [コア・カリキュラム]	口腔医学キーワード
8月2日 (火) 5限 (14:40 ～ 16:10)	外科学講座 佐々木章 教授	30. 内分泌・代 謝疾患と外 科治療		口腔（歯科）診 療を行う上で必 要な内分泌・代 謝疾患の病態、 周術期管理と治 療について理解 する。	以下の項目について説 明できる。 1. 甲状腺・副甲状腺の解 剖と生理 2. 膵臓の解剖と生理 3. 副腎の解剖と生理 4. 肥満症の病態 5. 口腔症状を呈する内 分泌・代謝疾患 6. 甲状腺機能亢進症の 周術期管理と治療 7. 肥満症の周術期管理 と治療 [E-6-②]	体重減少、体重増 加、頻脈、徐脈、血 圧上昇、下痢、甲状 腺機能亢進症、甲状 腺機能低下症、副甲 状腺機能亢進症、 Cushing病、アルド ステロン症、糖尿病
8月30日 (火) 4限 (13:00 ～ 14:30)	脳神経外科 学講座 小笠原邦昭 教授	31. 脳血管障害 の病態と外 科治療およ び意識障害 (脳死)		口腔（歯科）診 療を行う上で必 要な脳血管障害 の病態と外科治 療および意識障 害（脳死）につ いて理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 脳卒中の病態(脳内出 血、くも膜下出血、脳 梗塞) 2. 脳血管障害の外科治 療(脳動脈瘤、頸動脈 硬化症、内膜剝離術) 3. 意識障害の機構 4. 脳死の判定 [E-6-②]	脳卒中、脳内出血、 くも膜下出血、脳梗 塞、心原性脳塞栓症、 凝固線溶、抗凝固薬、 抗血小板薬、脳動脈 瘤、脳動脈瘤クリッ プ、頸動脈硬化症、内 膜剝離術、遷延性植 物状態、脳死
8月30日 (火) 5限 (14:40 ～ 16:10)	千葉俊美 教授	32. 糖尿病、高 脂血症への アプローチ	ユニット5 歯科診療 に影響す る疾患	口腔（歯科）診 療を行う上で必 要な糖尿病、高 脂血症の主要症 候と病態を理解 する。	以下の項目について説 明できる。 1. 糖代謝の主要な症候、 病態 2. 高脂質血症の主要な 症候、病態 [E-6-②]	糖尿病、ランゲルハ ンス島、経口糖尿病 薬、インスリン、低 血糖、低血糖症、糖 尿病の慢性合併症 (網膜症、腎症、神 経障害)、易感染 性、 糖・脂質代謝
9月6日 (火) 4限 (13:00 ～ 14:30)	千葉俊美 教授	33. 内分泌疾 患・甲状腺 疾患	ユニット5 歯科診療 に影響す る疾患	口腔（歯科）診 療を行う上で必 要な代謝性疾患 と甲状腺疾患の 主要症候と病態 を理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 代謝疾患の主要な症 候、病態 2. 甲状腺疾患の主要な 症候、病態 [E-6-②]	甲状腺機能亢進症、 バセドウ病、甲状腺 機能低下症、原発性 アルドステロン症、 クッシング症候群、褐 色細胞腫
9月6日 (火) 5限 (14:40 ～ 16:10)	医療開発 研究部門 西塚 哲 教授	34. 腫瘍の発 生、転移、が ん遺伝子と 化学療法		口腔（歯科）診 療を行う上で必 要な腫瘍の発生、 転移、がん遺伝子 の意義を理解す る。	以下の項目について説 明ができる。 1. 腫瘍の概念、病因 2. 腫瘍の発育様式、転移 3. がん遺伝子・がん抑制 遺伝子 4. 悪性腫瘍の症候、病態 と診断 5. 抗癌剤の種類と作用 機序 [E-6-②]	腫瘍、転移、がん遺伝 子、がん抑制遺伝子、 アポトーシス、分子 標的マーカー、化学 療法

月 日	担当者	ユニット名	医歯学 連携演習	学習目標 (GIO)	到達目標(SBOs) [コア・カリキュラム]	口腔医学キーワード
9月13日 (火) 4限 (13:00 ~14:30)	菊池 哲 非常勤講師	35. 救急医療－ 腹部救急疾 患と主要徴 候	ユニット5 歯科診療 に影響す る疾患	口腔（歯科）診 療を行う上で必 要な腹部救急、 急性腹症、消化 器救急について 理解する。	以下の項目について説 明ができる。 1. 急性腹症の兆候 2. 異物誤飲（義歯 等） 3. 鎮痛剤と消化管出 血	腹部救急、急性腹症、 腹膜刺激症状、筋性 防御、板状硬、打診 痛、反跳痛、消化管異 物、NSAIDs 潰瘍、黒 色便
9月13日 (火) 5限 (14:40 ～ 16:10)	腎・高血圧 内科 旭 浩一 教授	36. 腎疾患	ユニット5 歯科診療 に影響す る疾患 ユニット6 高齢者	口腔（歯科）診 療を行う上で必 要な腎疾患の主 要症候と病態、 治療を理解す る。	以下の項目について歯 科診療との関連を説明 できる。 1. 腎疾患の主要症候と 腎機能検査 2. 腎・尿路系の主要な症 候、病態、治療（ステ ロイドを含む） [E-6-①, E-6-②]	蛋白尿、血尿、脱 水、浮腫、糸球体濾 過値(GFR)、クレア チニンクリアランス (Ccr)、糸球体腎 炎、ネフローゼ症候 群、慢性腎臓病、急 性腎障害、ミネラル 骨代謝異常、ステロ イド療法、透析
9月27日 (火) 4限 (13:00 ~14:30)	外科学講座 鈴木 信 准教授	37. 小児外科疾 患		口腔（歯科）診 療を行う上で必 要な小児外科疾 患について理解 する。	以下の項目について説 明できる。 1. 代表的な小児外科 疾患 2. 新生児・小児に対 する周術期管理の 注意点 [E-6-②]	嘔吐、チアノーゼ、 黄疸
9月27日 (火) 5限 (14:40 ～ 16:10)	超高磁場M R I 診断・ 病態研究部 門 佐々木真理 教授	38. 超 高 磁 場 MRI の現状 と臨床応用		口腔（歯科）診 療を行う上で必 要なMRI 画像診 断の基礎知識と 臨床的意義を理 解する。	以下の項目について説 明できる。 1. MRI の原理 2. 脳画像所見 3. 機能的 MRI 4. 頭頸部疾患の MRI [E-6-②]	MRI、超高磁場、脳 画像、機能的 MRI、頭頸部疾患
10月18日 (火) 4限 (13:00 ~14:30)	千葉俊美 教授	39. 出血性疾患 と抗凝固・ 抗血小板療 法	ユニット5 歯科診療 に影響す る疾患	口腔（歯科）診 療を行う上で必 要な出血性疾患、凝 固・線溶系 の主 要症候と病態を 理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 出血傾向をきたす疾 患の概要 2. 特発性血小板減少性 紫斑病 3. 血友病、Von Willebrand 病など 4. 種性血管内凝固症候 群 (DIC) 5. 凝固・線溶系の主要な 症候、病態 6. 抗凝固療法や抗血小 板療法 [E-6-②]	特発性血小板減少性 紫斑病、血友病、播 種性血管内凝固症候 群 (DIC)、凝固因 子、抜歯後出血 ワルファリン、アス ピリン、クロピドグ レル、シロスタゾー ル、抗凝固療法、抗 血小板療法

月 日	担当者	ユニット名	医歯学 連携演習	学習目標 (GIO)	到達目標(SBOs) [コア・カリキュラム]	口腔医学キーワード
10月18日 (火) 5限 (14:40 ~16:10)	王 挺 特任講師	40. 消化器疾患 と口腔内細菌 叢、NAFLD の分子病態 学	ユニット5 歯科診療 に影響する 疾患	口腔（歯科）診 療を行う上で必 要な消化器疾患 と口腔内細菌叢 およびNAFLDの 分子病態学を理 解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 口腔/腸内細菌叢の異 常とNAFLDの関連 2. 病原性口腔細菌を標 的としたNAFLDの予 防・治療法の開発 [E-6-②]	NAFLD、腸内細菌、口 腔細菌
10月25日 (火) 4限 (13:00 ~14:30)	千葉俊美 教授	41. 最近話題の 消化器疾患		口腔（歯科）診 療を行う上で必 要な最近話題の 消化器疾患の主 要症候と病態を 理解する。	以下の項目について説 明できる。 1. 機能性消化管疾患の 主要な症候、病態 2. 慢性便秘症の主要な 症候、病態 [E-6-②]	機能性ディスペプシ ア、過敏性腸症候群、 慢性便秘症、腸内細 菌
10月25日 (火) 5限 (14:40 ~16:10)	祖父江憲治 学長	42. 特別講演 医療人とし ての心構え				

教科書・参考書

書 名	著者氏名	発行所	発行年
☆歯科内科 (教) 歯科医師のための内科学 (第1版) Little and Falace' s Dental Management of the Medically Compromised Patient 9 th ed. 内科学 11版 今日の治療薬:解説と便覧 2020 年版	千葉俊美, 山田浩之 編 James W. Little et al. 矢崎義雄 総編集 浦部晶夫ほか編	医歯薬出版 Mosby 朝倉書店 南江堂	2021年 2017年 2017年 2020年
☆外科学 標準外科学 16版	北野正剛監修 坂井義治ほか編集	医学書院	2022年
☆皮膚科学 歯科医のための皮膚科学 2版	山崎雙次ほか編	医歯薬出版	2004年
☆整形外科学 標準整形外科学 13版	松野丈夫、中村利孝 総編集	医学書院	2017年
☆耳鼻咽喉科学 標準耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 3版	鈴木淳一、中井義明、平野実 著	医学書院	1997年

成績評価方法

定期試験（前期試験 1/2, 後期試験 1/2） 100%
*各科より講義数に応じた問題数による総合試験を実施